



こんにちは日本共産党です

八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第369号

2018年6月18日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市民の声で市政は変えられる

滋賀県近江八幡市の新市長は、就任とともに「新庁舎の工事契約を解除」したことに続き、埼玉県上尾市の市長が、前市長が計画していた図書館建設を、事实上中止することを6月14日の本会議で明らかにしました。

両市で起きた事態は、市民の声が大きく市政を動かした結果です。市民の声に行政が真摯に向き合い、敏感にとらえているということです。

八千代市ではどうでしょうか？

八千代市では昨年市長が交代し、市庁舎整備についてアンケートを実施しました。賛成は70%だったと言われていますが、アンケートの記述欄は「財政的な情報がない」「賛成と答えたが、借金が多いなら反対」など書かれています。

また、日本共産党市議団が行った市民アンケートにも「税金を投入するので最低限の費用で」「市庁舎より市民の暮らしに直接かかわることに税金を」などの意見が寄せられています。さらに「大規模耐震改修工事36%、建て替え17%、わからない24%、その他・無回答23%」となっており、わからないと答えた方とその他・無回答の方が半数近くを占めています。多くの市民が庁舎整備についての情報が、判断できるほどではないと感じています。

市議会で地域ごとの説明会を求める

6月13日の本会議で、植田進市議が市庁舎整備についての説明会を7圏域ごとに行い、市民の判断を仰ぐべきと質問しました。

しかし、市は「6月30日、14時から市民会館第3会議室、先着100名」の開催のみとしています。100億円を超える整備計画に100名ほどの説明のみで良いのでしょうか。

今回の計画では、庁舎、水道、教育委員会などのすべての建物を一力所に集中させる方針も打ち出されています。公共施設は分散型のほうが良いという専門家もいれば、一力所のほうが市民の利便性に良いと考える方もいます。市は、広く市民に判断材料を提供し、市民の声を聞くべきです。

日本共産党は現在の借金（570億円）から考えると、庁舎整備はまずは大規模耐震改修工事で、バリアフリーなどに対応する庁舎にし、地域にある支所を充実させることで市民の利便性に対応できるようにしていく事を提案します。

みなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。

